

協働の森パートナーズ協定

交流活動イベントのレポート

人が森を助ける。
森が人を助ける。



Collaborative Forest Restoration with Environmentally Progressive Companies.

「環境先進企業との協働の森パートナーズ協定」については、高知県林業振興・環境部林業環境政策課のHPをご覧ください
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030101/kyoudounomori.html>

協定企業：コクヨグループ様
開催場所：「コクヨー四万十・結の森」
開催日：令和5年6月2日（金）
3日（土）

参加者数：27名
（コクヨ株式会社様、
株式会社カウネット様、
県立四万十高校、
四万十町森林組合、
四万十町、高知県）



令和5年6月2日から3日にかけて、コクヨ株式会社、株式会社カウネット、県立四万十高校、四万十町森林組合、四万十町、高知県による交流活動が行われました。

1日目は間伐体験の予定でしたが、大雨のため四万十町森林組合の大正集成材工場を見学させていただきました。

事務所で製品の生産についての事前説明を受けた後、工場へ移動です。

また、事務所には「CO2木づかい固定証書」や昨年度受賞された「森林×脱炭素チャレンジ2022」優秀賞の盾も飾られていました。



<工場見学の様子>



パソコンラックにも「結の森」の刻印が！



木材が集成材へと姿を変えていく様子を、みなさん大変興味深く見学されていました。

工場見学終了後は宿泊先に移動して、「結の森プロジェクト」についての研修が行われました。そして懇親会では、旬のかつおのたたきが！みなさん、お弁当と共に堪能されました。



<結の森視察の様子>

2日目は爽やかな晴天のもと、四万十町森林組合の方からの説明を受け、結の森で行われている動物調査のカメラ設置ポイントの確認や、間伐が行われた森と行われなかった森との比較も視察できました。そして、清流調査を行うはずだった四万十川へも。



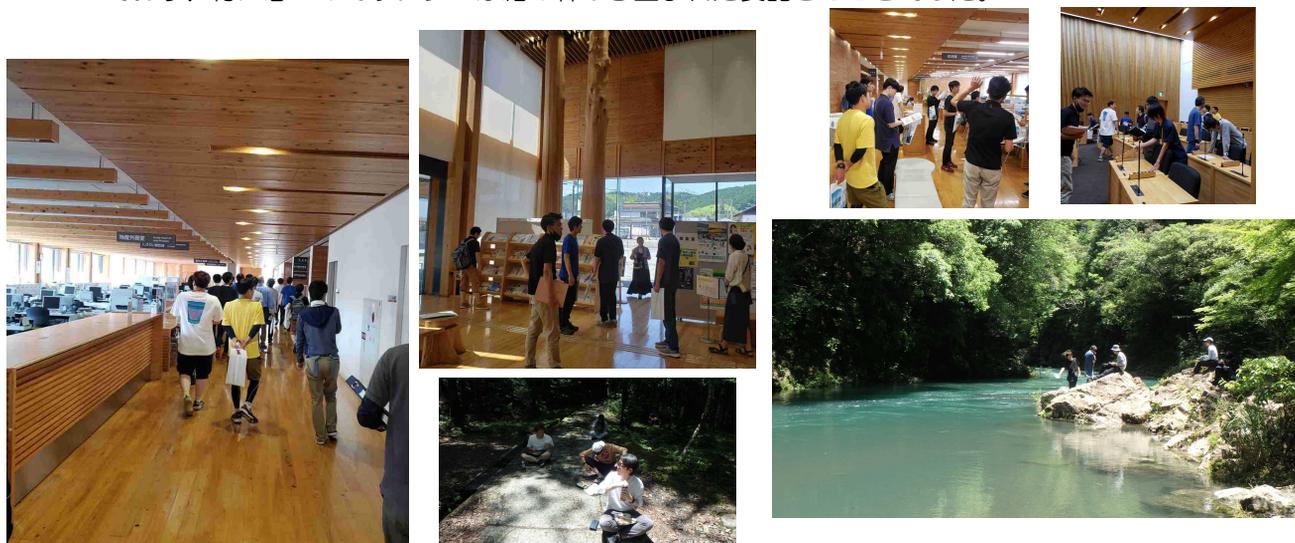
<説明会の様子>

四万十高校へ移動し、高校生から学年ごとの環境への取組紹介や清流基準調査についての説明がありました。みなさん、熱心に聴き入っておられました。



<庁舎見学>

最後は四万十町庁舎を見学させていただきました。庁舎には四万十ヒノキがふんだんに使われており、特に窓口のカウンターは結の森から生まれた製品とのことでした。



この後、みなさんで森の中でお弁当をいただき、高知市に出発されました。間伐体験や清流調査はできませんでしたが、高知の美しい自然がみなさんの心に残りますように！

人が森を助ける。
森が人を助ける。

